

センサーカメラは見た！丹沢の動物たち

秦野ビジターセンター

丹沢には42種類の哺乳類が生息しています。しかし、丹沢の山々を歩いていると、出会うことはとても難しいです。偶然出会えたとしても警戒されたり、逃げていく姿だったり、なかなか普通に行動している姿を観察することはできません。しかし、センサーカメラ(自動撮影カメラ)を利用すると、一瞬の一場面ではありますが、野生動物の思いがけない姿や行動を見ることができます。

センサーカメラでも動物たちを簡単に撮影できるわけではありませんが、その分、野性味あふれる姿が写っているのが楽しみです。

秦野ビジターセンターの展示室には、28種類の哺乳類のはく製が展示されています。ぜひ、丹沢に

すんでいる動物たちをご覧くださいとともに、毛並みや爪の鋭さなども観察してみてくださいと思います。(執筆:谷脇)



飛翔中をばっちり撮影!テングコウモリです。写っていたのにびっくりです。



お母さんと今年生まれのウリボウにお姉さんも一緒にイノシシの家族。



兄弟でじゃれあうタヌキ。



同じ道を使うニホンジカ(左)とハクビシン(中)とアナグマ(右)。

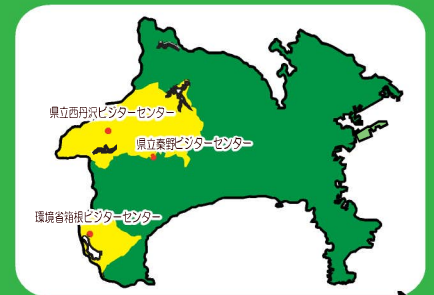
【新型コロナウイルス感染症対策に関するご注意とお願い】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各施設をご利用いただく際は、手指の消毒の徹底・マスクの着用をお願いするとともに、展示室の人数制限をさせていただく場合があります。



箱根ビジターセンター、秦野ビジターセンター、西丹沢ビジターセンターのFacebookページ公開中！ 最新の情報をご覧ください。

自然公園へでかけよう



環境省箱根ビジターセンター
Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根 164
Tel 0460-84-9981
<http://hakonevc.sunnyday.jp/>

県立秦野ビジターセンター
Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下 1513
Tel 0463-87-9300
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

県立西丹沢ビジターセンター
(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川 867-2-9
Tel 0465-78-3940
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

開館日、開館時間、イベント予定等は各ビジターセンターまでお問合せください。

真夏のアジサイ

昨年10月、台風19号の記録的な大雨は、箱根全山に甚大な被害を及ぼしました。特に被害が大きかった箱根登山電車は、懸命な復旧作業の結果、当初の予定より3か月ほど早く7月から運転を再開します。箱根登山電車の線路脇には色鮮やかなアジサイが植えられ、箱根の梅雨時の風物詩「あじさい電車」として親しまれています。

普段から雨の多い箱根は、緑豊かで10種類のアジサイ(クサアジサイ・ハコネクサアジサイ・イワガラミ・ツルアジサイ・タマアジサイ・ノリウツギ・コアジサイ・ヤマアジサイ・ホソバコガク・ガクウツギ)が自生しています。中でも花期が最も遅いタマアジサイは、沢沿いに多く箱根全山で見ることができます。7月から8月、夏の盛りに名前の由来となった球状の蕾が割れ、中から白い装飾花をつけた淡紫色の美しい花が姿を現します。ザラザラとした手触りの葉っぱも特徴です。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、恒例の芦ノ湖花火大会も中止となってしまいました。こんな時こそ、足元の自然に目を向けて、花火のよう

箱根ビジターセンター

な形のタマアジサイをゆっくり眺めてみてはいかがでしょうか。(執筆:石原)



タマアジサイ



箱根登山電車とアジサイ

西丹沢のアイドル・お尋ね者アナグマ

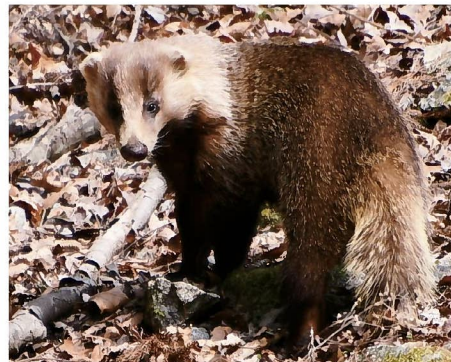
西丹沢ビジターセンター

名前はアナ「グマ」ですが、熊ではなくイタチ科です。タヌキに似た風貌をしています。両目の周りが黒くなっている点が異なります。体長は50 cm程度で、体格はずんぐりしていて尾は15 cm程度です。丹沢山地全域の山の麓から山頂にかけての森林に生息していて、前足の鋭い爪で巣穴を掘ったり、穴を掘ってミミズや昆虫の幼虫などを食べます。視力はあまり良くなく人間が近くにいても気づかないこともあります。聴力と嗅覚は優れています。西丹沢ビジターセンター周辺ではアナグマを朝や夕方に見かけることがあります。おしりをぷりぷりさせて歩く姿は、とても愛嬌がありますが、野生動物ですのであまり近づかないようにしてください。

最近のキャンプブームで西丹沢には多くのキャンプ客が訪れますが、夜人々が寝静まったところ、キャンプ場の残飯を狙ってアナグマが現れます。一部のキャンプ場では、対策として捕獲器を設置し、捕獲したアナグマを山奥に放っています(捕獲には許可が必

要です)。

アナグマはムジナと呼ばれることもあります。『おなじ穴のムジナ』という言葉は、アナグマと同じ巣穴をタヌキも使うことが語源となっているようです。またアナグマは英語でBadgerと言い、Stop badgering me (しつこくしないで)と日常会話で使われています。日本でも英語圏でもアナグマは身近に親しまれてきた動物です。(執筆:澤田)



アナグマ